

科目名称：	総合表現演習	
担当者名：	上野 高裕	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
子どもたちの豊かな音楽表現や創造性を引き出すために、様々な音楽表現活動の実践を通して、子どもの音楽表現を援助するために必要な知識や技術を学ぶ。また、2年間の学びの集大成として、学外施設で行う学科行事で表現活動の成果発表を行い、実践的な表現力を身に付ける。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 音楽表現、身体表現、美術表現を総合的にとらえ、舞台発表作品を作り上げる。 2. 発表までの計画、準備、練習、後片付け、振り返りまでの一連の作業に主体的に取り組む。 3. 自ら楽しむとともに、チームでの話し合いを中心に、創意工夫、協力しながら取り組む。 4. 子どもの音楽表現を援助するために必要な基礎的な楽器の知識や技能を習得する。		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)					0
全学DP(3)			40	60	100
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
共同作業意欲	仲間と協力し、とても積極的に活動している	仲間と協力し、積極的に活動している。	仲間と協力している	協力することができない
表現意欲	現場で即実践できる	アピールしようとしている	表現に対してやや消極的である	表現に対してかなり消極的である
歌唱技術	自然で無理のない声で正しい音程で歌える	元気よく大きな声で歌える	音程は取れている	ほとんど声が出ない
授業態度	何事にも積極的に取り組んでいる	積極的に取り組む姿勢がみられる	取り組んでいる	参加しようとする意欲がない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業内容、計画について説明。過去の取り組み紹介	シラバスを読んでおく。	40分
第2回 実践発表会に向けて①	小グループでこどもの歌を歌いながら発表するための相談と練習。	60分
第3回 実践発表会に向けて②(グループワーク)	小グループでこどもの歌を歌いながら発表の実践と復習。	60分
第4回 ハロウィンパーティーを企画しよう①	季節行事の意義を理解した上で、企画や構成を考える。	60分
第5回 ハロウィンパーティーを企画しよう②	企画や構成を生かし、模擬行事を行うための練習。	60分
第6回 ハロウィンパーティーを企画しよう③	模擬行事の発表と復習。	60分
第7回 ミュージックフェスティバルを企画しよう①(ディスカッション)	過去の映像や曲目等を紹介し企画や構成を考える。	60分
第8回 ミュージックフェスティバルを企画しよう②	事前に楽曲の候補を把握した上で、クラス内の編成や発表する楽曲を決める。	60分
第9回 ミュージックフェスティバルに向けて①	各グループで発表する楽曲の構成を考える。	60分
第10回 ミュージックフェスティバルに向けて②	各グループで発表に必要な衣装や道具などを制作するための準備。	60分
第11回 ミュージックフェスティバルに向けて③	発表する楽曲の振り付けや歌の練習①	60分
第12回 ミュージックフェスティバルに向けて④	発表する楽曲の振り付けや歌の練習②	60分
第13回 ミュージックフェスティバルに向けて⑤	クラス全体で発表する流れや歌の練習。	60分
第14回 ミュージックフェスティバルに向けて⑥	発表に向けての総合練習とこれまでの復習。	60分
第15回 ミュージックフェスティバルの振り返りと反省	発表会を終えての振り返り。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
発表に向けての練習、準備、取り組み方、グループ活動の協力的な姿勢 (60%)
発表後の振り返りレポート (40%)

課題に対するフィードバック

毎時間ごとに振り返りシートを提出する。発表するために、進捗状況の確認をし本番に繋げる。

教科書・参考書

教科書：なし
参考書：歌唱教材、参考図書等は適宜配布する。